

Racing Topics

★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

●宝塚記念はメイショウタバルが優勝

6月15日(日)に行われた宝塚記念(G I)ではメイショウタバル(牡4歳／栗東・石橋守厩舎)が優勝、G I初制覇を果たしました。石橋調教師にとっても初のG I制覇となります。

●ロードカナロア産駒がJRA通算1200勝を達成

6月14日(土)の3回東京3日・第4レースではジューンベロシティが1着となり、ロードカナロア産駒のJRA通算勝利数が1200勝となりました。これは種牡馬としてJRA史上14頭目の記録となります。

●吉田隼人騎手がJRA通算1万4000回騎乗を達成

6月15日(日)の1回函館2日・第11レースとして行われた函館日刊スポーツ杯でフミサウンドに騎乗した吉田隼人騎手(美浦・フリー)は、この騎乗で史上21人目・現役12人目となるJRA通算1万4000回騎乗を達成しました。

●イクイノックスが顕彰馬、音無元調教師が顕彰者に選定される

2025年度の顕彰馬記者投票において、イクイノックスが143票を獲得(得票率90.5%)、「投票者数(記者158名)の4分の3(119票)以上」という選定基準を満たし、顕彰馬に選定されました。顕彰馬は「競走成績が特に優秀であると認められる馬」や「競走成績が優秀であって、種牡馬又は繁殖牝馬としてその産駒の競走成績が特に優秀であると認められる馬」などを讃え顕彰するもので、今回の投票(記者1人あたり最大4頭まで投票可)は2004年4月1日から2024年3月31日の間に競走馬登録を抹消された馬が対象となっていました。また音無秀孝元調教師(JRA通算996勝／G I 14勝／2010年リーディングトレーナー)が、中央競馬の発展に特に貢献があった元調教師または元騎手を顕彰する顕彰者に選定されました。

★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

●メモリアカフェが人気に応じて関東オークス(川崎)を圧勝

関東オークス(JpnII、3歳牝馬、6月18日、川崎、2,100m)は、5～6番手から直線半ばで抜け出した単勝1.6倍で断然人気のメモリアカフェ(クリストフ・ルメール騎手、父ナダル)がコパノエミリア(愛知)を5馬身引き離し、重賞初挑戦で初制覇。クリノメイは4着、2番人気のクリノスワローは5着、3番人気のツキノアカリは6着に敗れています。

●ソルジャーフィールドが北海道二冠を達成【各地の主要3歳重賞】

北海優駿(6月12日、門別、2,000m)は、中団から直線で内を突いたソルジャーフィールド(牡、父ルヴァンスレーヴ)が残り200mで抜け出して後続に4馬身差を付け、単勝元返しの支持に応じて北斗盃に続く北海道二冠を達成。ぎふ清流C(6月12日、笠松、1,400m)は、最後方から追い上げた1番人気の愛知所属馬ケイズレーヴ(牡、父ブリックスアンドモルタル)が直線の競り合いを制し、ネクスター中日本に次ぐ2度目の重賞勝ちを果たしました。

●シャマル、コスタノヴァらが参戦、6月25日のさきたま杯(浦和)

さきたま杯(JpnI、6月25日、浦和、1,400m)は、かしわ記念を連覇したシャマルが中心、小回りコースが鍵となるコスタノヴァ、サウジアラビア遠征帰りのチカッパが続き、以下エンペラーワケア、タガノビューティーまでが争覇圏内と考えられます。

★海外競馬ニュース 文・秋山響★

●豪首位種牡馬4回のスニツツェルが死亡

2016/17年から4シーズン続けてオーストラリアのチャンピオンサイアーに輝いたスニツツェル(父リダウツチョイス)が現地6月11日にオーストラリアのアローフィールドスタッドで死亡しました。肝機能の悪化に伴い、安楽死の措置がとられたもの。22歳でした。スニツツェルは現役時代にG1オークレープレート(芝1,100m)に優勝。種牡馬としてはG1コックスプレート(芝2,040m)を制したシャムスアワード、G1ゴールデンスリッパース(芝1,200m)に勝ったエスティジャープ、シンゾー、マルフーナなど23頭のG1馬を送った。また、日本でも2007年と2011年にシャトル種牡馬として供用。富士S(GIII)など重賞3勝のヤングマンパワーなどが活躍した。

●G1仏オークス～ゲゾラが中国から抜け出す

6月15日にフランスのシャンティイ競馬場で行われたG1仏オークス(3歳牝、芝2,100m)はC.スミヨン騎手を背に中団でレースを進めたゲゾラ(牝3歳)が直線で鋭く伸びて優勝しました。ゲゾラは父が仏ダービー馬アルマンゾル、母がサンタリ賞(当時G1)勝ち馬ジェルマンスという血統。昨年10月のG3レゼルヴォワール賞(芝1,600m)で重賞初制覇を果たした後、現在のオーナーにトレードされて、F.グラファール厩舎に移籍。今季初戦となった4月のG3ヴァントー賞は3着でしたが、続く前走5月のG2サンタリ賞(芝2,000m)で2つ目の重賞勝ちを収めていました。